

事務事業名	予防接種事業(インフルエンザ・子宮頸がん)			担当	健康福祉部 健康増進課 母子健康係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8121		
施策名	6	健康づくりと適切な医療の確保			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成13年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度~ 年度)			
法令根拠	予防接種法、真岡市子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業実施要綱							
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	2. 予防費				
事業概要	高齢者インフルエンザ：予防接種法による予防接種は市町村長が行うこととされており、予防接種の対象者は、予防接種を受けるよう努めなければならないとされている。【対象者】65歳以上の高齢者及び60歳以上65未満の方で、心臓や腎臓、呼吸器などに重い病気のある方 【接種期間】10月1日~2月28日まで 【接種場所】芳賀郡市内の医療機関 【自己負担】なし(1回接種分) 子宮頸がん：若い世代に多く発症する子宮頸がんの予防対策として平成22年10月1日から市の単独事業で、任意の予防接種として助成を開始した。その後平成22年11月26日県の補助事業になる。【対象者】中学1年生から高校1年生に相当する年齢の女子生徒 【接種場所】市内30箇所受託医療機関 【自己負担】なし(1人3回全額助成)							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 24年度実績 高齢者インフルエンザ：ウィークリーニュースもおかに掲載した。もいか広報ひとロコモで周知した。医療機関で個別予防接種の実施した。実施報告書整理及び支払、予防接種台帳を整備した。 子宮頸がん：市内各中学校を通して通知文、接種に関するリーフレット、予診票の配布等により保護者に周知した。ウィークリーニュースもおか・ホームページに掲載した。医療機関で個別予防接種の実施した。実施報告書整理及び支払、予防接種台帳に入力した。  25年度計画 高齢者インフルエンザ：平成24年度と同様 小児インフルエンザ：平成25年10月から任意接種費用の一部を助成 子宮頸がん：平成25年4月1日から予防接種法に基づく定期予防接種	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	高齢者インフルエンザ接種者数	人	9,219	10,217	10,096	10,226	10,400
	イ	子宮頸がん接種者数(第1回目)	人		1,025	218	189	300
	ウ	子宮頸がん接種者延数(1回~3回)	人		2,021	1,167	545	900
エ								
オ								
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 高齢者インフルエンザ対象者：65歳以上の高齢者及び60歳以上65歳未満の方で心臓や腎臓、呼吸器などに重い病気のある方 子宮頸がん対象者：中学1年生から高校1年生の年齢に相当する女子	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	65歳以上の高齢者数及び60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器などに重い病気のある者の数	人	15,790	16,059	16,841	17,452	17,158
	イ	中学1年生から高校1年生の年齢に相当する女子	人		1,187	1,581	831	1,300
	ウ							
エ								
オ								
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 予防接種を受けることにより、個人の発病又は重症化を予防するとともに感染症のまん延を防止する。	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	高齢者インフルエンザ接種率(実施数/対象者)	%	58.4	63.6	59.9	58.6	60.6
	イ	子宮頸がん接種率(実施数/対象者)	%		86.4	73.8	65.6	69.2
	ウ							
エ								
オ								
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 感染症の発生予防、まん延防止を図り、健康な状態で生涯を暮らしてもらおう。	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	予防接種を受けて健康な生活を送れた数	人	9,219	11,242	10,314	10,415	10,700
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円				
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	10,393	34,677	31,668
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	27,687	60,427	178,456	170,395	
	事業費計(A)	千円	27,687	70,820	213,133	202,063	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	4	4
		延べ業務時間	時間	96	237	1,453	1,423
		人件費計(B)	千円	389	1,012	6,164	5,979
トータルコスト(A)+(B)		千円	28,076	71,832	219,297	208,042	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	高齢者インフルエンザ：平成13年の予防接種法の改正により定期接種となる。 子宮頸がん：平成22年10月から若年層の子宮頸がんの発症多発に伴い、予防対策として市の単独事業として実施開始した。平成22年11月26日から県の補助対象事業となる。(補助率：対象事業費×0.9×1/2)
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	高齢者インフルエンザ：高齢者人口が増加傾向にあるので、対象者は年々増えている。 子宮頸がん：平成25年4月1日から予防接種法に基づく定期接種となる。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法に基づく感染症の発生予防及び、真岡市子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業実施要綱実施に基づき実施しているのでの市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 予防接種法で市町村の業務となっている。また、市民の健康維持は市の役割である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 予防接種法及び真岡市子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業実施要綱実施に基づき実施しているの、対象・意図は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 予防接種法及び真岡市子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業実施要綱に基づき実施しているの、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 予防接種法に基づく事務であり、また、高齢者の感染症による死亡を減らすものであり、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 予防接種法に基づき医師会と協定価格で委託しているの、削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費であり、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 該当者全員を対象としているの、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							